

2017年9月吉日

株式会社〇〇〇〇 御中

ジャグラコンテスト事務局
 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 tel.03-3667-2271 fax.03-3661-9006

ジャグラコンテスト第3回 InDesign 第1次審査結果報告

1. 応募者概況

総応募者数 143名
 総応募社数 47社

2. コンテスト総合結果

参加者（143名）の点数集計結果は、下記の通りです。（単位＝点）

ジャグラコンテスト 第3回 InDesign	問1～問4 ファイル名/入稿データ合計			InDesign 技能			印刷技能			必須技能		
	満点	最高点	平均点	満点	最高点	平均点	満点	最高点	平均点	満点	最高点	平均点
	456	426	251.6	371	348	200.5	44	38	29	284	267	164.9

※ 必須技能の点数は、InDesign 技能・印刷技能の全採点項目のうち、当コンテストが「オペレーターとして習得が必須である」と定めた採点項目の点数のみを抜き出した数字です。

3. 貴社参加者結果

貴社参加者（5名）の得点と総合順位は下記の通りです。（得点順位順、敬称略、単位＝点）

順位	受験番号	氏名	総得点	InDesign 技能	印刷技能	必須技能	補足
○位	003	〇〇〇〇	388	315	38	254	第2次審査進出
○位	002	〇〇〇〇	387	318	37	257	第2次審査進出
○位	005	〇〇〇〇	305	246	34	191	
○位	001	〇〇〇〇	298	252	26	205	
○位	004	〇〇〇〇	156	115	29	97	

4. 評価用課題概要

ジャグラコンテスト第3回 InDesign では、印刷物制作およびデザイン編集業務において、InDesign を活用する制作物種別を4種用意し、それぞれの課題において、InDesign 機能の知識、操作スキル、運用スキル、印刷知識を問う内容を提示しました。各問の内容は下表の通りです。

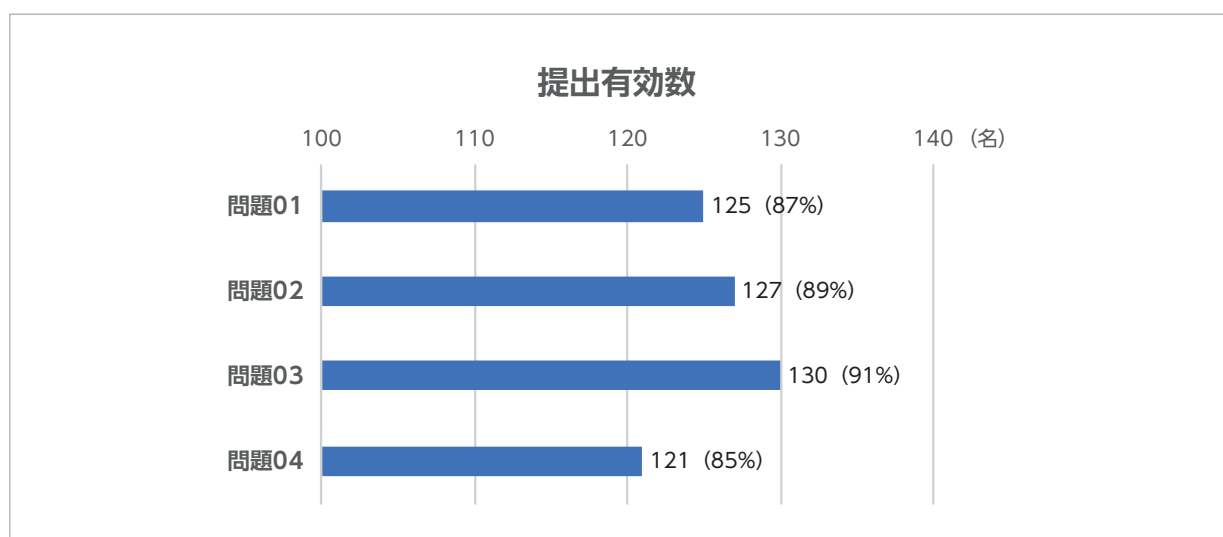
No.	問題	採点の観点	実務における主な判断項目
1	横組み冊子の制作 (2C・A4判・無線綴じ)	<p>順不同で記事毎に原稿が入稿されるケースを想定した問題です。</p> <p>このような仕事は、まとめて処理が行えない分、一手間でも減らせる作業時間短縮を意識したデータ作成が重要です。その点について考慮されているかを採点しました。</p> <p>また、修正による文字の増減を想定した「修正に強いデータ」になっているか、指示書通りの体裁になっているかについても採点しています。</p>	<input type="checkbox"/> 指定準拠 <input type="checkbox"/> InDesign 基本機能の習得度 <input type="checkbox"/> テンプレート制作技能 <input type="checkbox"/> 横組みのページ物制作技能 <input type="checkbox"/> 印刷物データ制作技能
2	縦組み新聞レイアウトの制作 (1C・B4判・新聞綴じ)	<p>支給された文字原稿、画像、指示書・割付表に基づき、B4 縦1色の縦組み新聞レイアウト4ページ分を制作する問題です。</p> <p>書式等が記載された指示書のほか、原稿流し込みの順番が明確に指示された割付表を添付し、指示書の指定に従い正確にレイアウトできるかについて採点しました。</p> <p>また、「今後もシリーズとして続くため、各種スタイルやフォーマット等を効率良く流用できるようにしてください」という指示も含めて、作業効率の良いデータ作りになっているかについても採点しました。</p>	<input type="checkbox"/> 指定準拠 <input type="checkbox"/> InDesign 基本機能の習得度 <input type="checkbox"/> 印刷物データ制作技能
3	フライヤーの制作 (4C・A4判)	<p>InDesign の機能を使ってグラフィック表現に取り組む問題です。</p> <p>通常フライヤーのような1ページで完結するものはIllustratorを使うことが多いでしょう。しかし、InDesign の効果やフレームを利用した表現はIllustrator にはないものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ InDesign で扱う1つのフレームに対して塗りや画像の配置、効果の適用などが使われているか ・ InDesign の線機能を使えているか ・ 塗りと線を使ったグラデーションの塗り分けなどが採点基準となります。 	<input type="checkbox"/> InDesign のフレームの知識 <input type="checkbox"/> 効果の使用 <input type="checkbox"/> 線機能の使用 <input type="checkbox"/> 塗りと線のカラー <input type="checkbox"/> インデントの使用
4	自動表組みの制作 (A4縦)	<p>Excel で作成した表を効率的に InDesign に取り込む問題です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Excel で作成された表のテキスト部分を、InDesign にリンクできているか ・ 元の文字属性や表属性を活用して、印刷に不具合がある部分を修正できているか ・ 元のデータが変更されたときも、自動で InDesign 側のデータが変更されるか <p>以上のことが、InDesign データに設定されているかについて採点しました。</p>	<input type="checkbox"/> InDesign 基本機能の習得度 <input type="checkbox"/> Excel との連携 <input type="checkbox"/> InDesign の表作成技能 <input type="checkbox"/> 自動テキスト整形 (正規表現) 技能 <input type="checkbox"/> 印刷物データ制作技能

5. 課題提出状況

下図は、提出された課題の有効数を問題別にグラフ化したものです。

参加総数 143 名に対して、もっとも提出率が高かったのは、問題 03 の「フライヤーの制作課題」でした。

一方で、問題 04 の「自動表組み制作課題が、他の問題に比べて提出率の低い結果となりました。



6. 提出物の傾向（採点者コメント）

課題データのダウンロード開始から提出締切まで約 1 ヶ月という短い期間の中、約 9 割の方が期限内に課題を提出されたことは特筆すべきことです。「コンテスト」という形式上、採点により順位をつけたものの、業務上大きな問題となるようなデータ件数は少なく、ハイレベルの争いだったといえます。

採点させていただいた結果、InDesign 組版技能・印刷技能に優れている方が半数以上という結果でした。また、上位者の多くは、1～3 点という僅差によるランキングになりました。よって、1 位から 50 位以内の方々のいずれもがトップレベルのオペレーターであると判断しております。

本来、印刷物製造におけるオペレーターの役割としては、正確さ、速さが求められますが、InDesign を使用した組版においては、可読性、日本語組版ルール、出版社ルールに基づく InDesign 組版機能の活用が求められます。

このようなニーズに応えられるオペレーターの育成に、今後ご尽力いただければ幸いです。

7. 採点におけるスタンス

「第 1 次審査課題」は 4 問の題材を用意し、多様な印刷物制作において、InDesign を使いこなしているか、また不明な機能や未知の機能も調べて操作可能な知識を備えているか、今後再版やシリーズとして発行する際に、効率的に社内での制作を運用可能にするデータ作りができるかについて採点しました。

また、印刷業において、必須となる機能を習得しているかを測るため、必須項目のみの採点結果と総合採点結果を出すこととし、必須技能を習得していることを表わす採点結果欄を設けております。いずれの採点においても、加点方式をとりました。

採点にあたっては、課題制作担当者、コンテスト専門委員（5 名）が担当し、参加者個人を特定した採点が行われないう、また、採点者ごとに加点の偏りが生じないように配慮しました。さらに、アプリケーションバージョンやフォント環境によって採点結果に差が生じないように、InDesign データと PDF 出力結果、コンセプト文を採点の対象としました。

8. 採点結果に関する注意点

本採点結果は、あくまでコンテストの採点基準に則って採点をおこなった結果となります。各社ごとの社内ルールと採点基準との相違により、誤差が生じる可能性があることをご理解ください。

コンテストという性質上、採点による順位付けをおこないましたが、順位の高低と実務上での InDesign 技能の優劣とが必ずしも一致するわけではありません。

ご参加者の InDesign 技能の習熟度については、参加者個人の採点レポートの総評に記載しております。

本コンテストは InDesign のオペレーション技能のレベルを競うことを目的としているため、配点については InDesign 技能に比重を置いています。

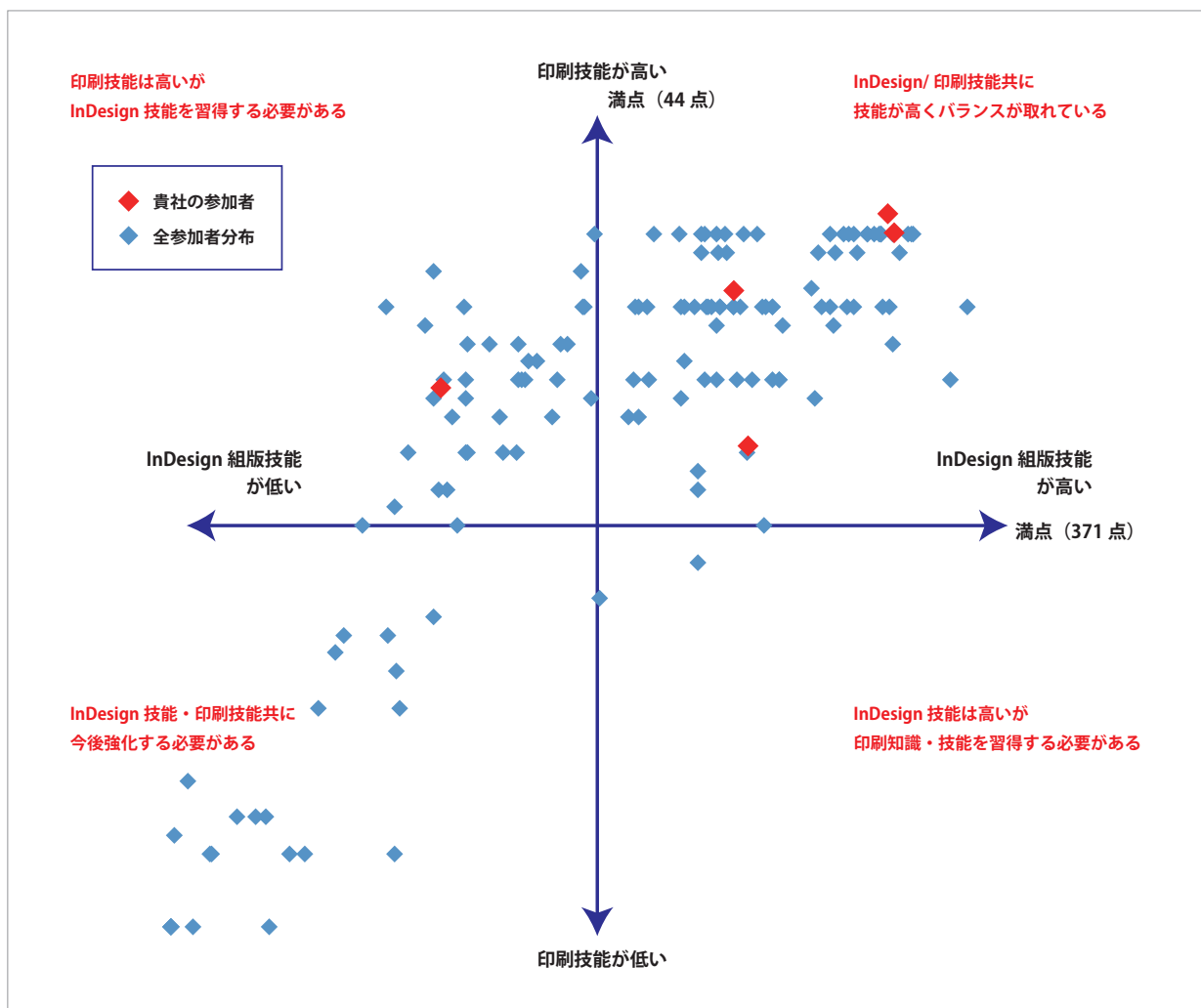
第1次審査採点結果に関する個別のお問い合わせにはお答えできません。

採点に関してご不明な点がございましたら、コンテスト特設サイトのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。後日、採点 QA ページを設置し、そちらに QA 集として回答を掲載いたします。<http://www.jagra-contest.com>

9. 統計情報 -1：オペレータースキルマップ（貴社参加者 / 全参加者）

下図は、参加企業の採点結果から見た技能バランスのマッピングチャートです。

第1回、第2回コンテストにご参加いただいた方は、従来参加回と今回でマップがどのように変化したか比較してご確認ください。



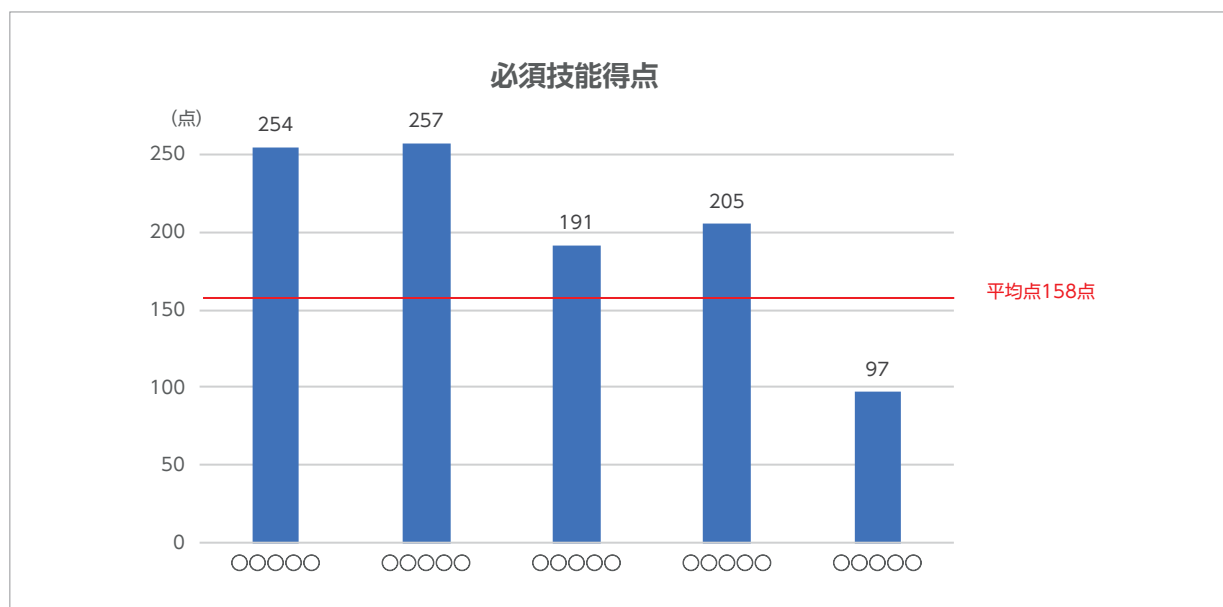
10. 統計情報 -2：貴社参加者の必須技能習得状況

下図は、オペレーター必須技能の得点をグラフ化したものです。

オペレーター必須技能の点数は、InDesign 技能・印刷技能の全採点項目のうち、当コンテストが「オペレーターとして習得が必須である」と定めた採点項目の点数のみを抜き出した数字です。

平均点（158点）のライン以上の得点を取得している方は、オペレーターとして優れた技能を保有しています。

※棒グラフ=必須技能得点（満点 290点・平均点 158点）・敬称略



11. 統計情報 -3：貴社参加者の技能バランス

下図は、各問題の得点をレーダーチャートグラフ化し、技能バランスを表したものです。

2C 横組み冊子（問題 01）、1C 縦組み新聞制作（問題 02）、4C フライヤー制作（問題 03）、自動表組みの制作（自動化処理：問題 04）における InDesign 技能の習熟度です。印刷入稿は、入稿パッケージ・PDF 書き出しに関する印刷技能の習熟度です。ご参加オペレーターの得意分野をご確認いただくものです。（敬称略）

